

平成 29 年度（国語科）授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な漢字習得が不十分な生徒がいる。 ・言語に関する知識や能力の習得が不十分な生徒が多い。 ・文章を読み込んで理解を深め、自分の考えを発展させる力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習ノートを用いた漢字小テストの計画的な実施や、長期休業時の課題を設定する。 ・反復や小テストなどを行い、確実な習得を目指す。 ・発問の工夫や、小集団での学び合いを取り入れ、読解活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習が必要な生徒には、別途小学生段階の漢字も含めて復習させる。 ・ワークなどを用いて家庭学習の充実を図る。 ・学習の最初と最後に、考えを書いて言語化させ、他者と共有させることにより、自身の読み取りについて客観的に捉えさせる。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み、自分の考えを形成する力が不十分な生徒がいる。 ・言語の知識や能力の定着に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時実施している学習の振り返りをクラスごとに集約し、思考や表現の方法を学び合う。 ・漢字テストの結果に応じて個別に課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・着目すべき観点をより具体的に示して考えを書かせる。 ・既習事項も含めて基礎的な部分から復習させる。また定期考査前や夏季休業中に補充教室を設け、知識の定着を図る。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現する活動に課題意識をもつ生徒が多い。 ・知識の定着の個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元のまとめとして自分自身の考えを短作文などにまとめる活動を取り入れ、グループで互いに交流し合うことにより他者の考え方や表現を学ぶ機会を取り入れる。 ・1学年時より継続して行っている漢字ノートを活用した漢字小テストを学年末まで続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の型を提示するなど書くことに苦手意識を抱いている生徒に支援を行う。 ・定期的に漢字ノート点検を行うことによって学習の進捗を確認する。計画表を事前に配り、見通しをもって学習に取り組ませる。